

令和3年度

奈良教育大学大学院教育学研究科

専門職学位課程(教職大学院)

[一般選抜]

[現職教員特別選抜]

[社会人特別選抜]

学生募集要項

[9月募集]

[11月募集]

[2月募集]

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況により、本要項に記載している選抜方法等を変更する場合があります。変更する場合は、可能な限り速やかに本学ホームページで公表します。

奈良教育大学ホームページ : <https://www.nara-edu.ac.jp/>

募集区分	出願期間	試験期日	合格発表
9月募集	令和2年7月30日(木)～ 令和2年8月5日(水)	令和2年9月6日(日)	令和2年9月24日(木)
11月募集	令和2年10月16日(金)～ 令和2年10月22日(木)	令和2年11月8日(日)	令和2年11月26日(木)
2月募集	令和2年11月27日(金)～ 令和2年12月3日(木)	令和3年2月14日(日)	令和3年2月18日(木)

奈良教育大学

目 次

入学者受入方針(アドミッション・ポリシー).....	1
教育課程編成実施方針(カリキュラム・ポリシー).....	1
学位授与方針(ディプロマ・ポリシー).....	1
1. 専攻、入学定員及び募集人員.....	2
2. 標準修業年限.....	2
3. 出願資格.....	2
4. 出願手続(出願書類、出願方法、出願にあたっての注意事項).....	6
5. 受験票の送付.....	8
6. 選抜方法.....	8
7. その他の留意事項.....	10
8. 合格者の発表.....	10
9. 入学手続.....	10
10. 入学料及び授業料.....	10
11. 小学校教員免許取得プログラムについて(長期在学コース).....	11
12. 特別支援学校教員免許取得プログラムについて(長期在学コース).....	12
13. 長期履修学生制度について.....	12
14. 修了要件、履修方法等について.....	13
15. 担当教員研究分野一覧表.....	14
16. 個人情報の利用について.....	15
17. 障害を有する志願者との事前相談について.....	15
18. 過去の入試問題の閲覧について.....	16
19. 日本学生支援機構大学院奨学生の予約採用について.....	16

令和3年度入試の主な変更点は以下のとおりです。

- 1. 「一般選抜」において、令和3年度奈良県公立学校教員採用候補者選考試験合格者（小学校及び特別支援学校に限る。）を対象とした「選抜方法の特例」を実施します。**
- 2. 「現職教員特別選抜」において、「学力検査科目」を変更します。**

教育学研究科の特徴

広く教育関係諸科学を研究し、教育実践に関する科学的研究を深めることによって、豊かな人間性と高度な専門的教養を備え、教育の理論と実践に関する優れた能力を有する高度専門職業人としての教員を養成します。そのことを通して、奈良県および近隣地域における、高度な力量を持った教員の養成において中心的役割を果たしていきます。

【入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）】

専門職学位課程においては、学士課程や教育現場で培った学力・能力に加え、次の目的を持つ人を求めます。

● 学部・大学院出身者

授業・学習指導方法開発、生徒指導・教育相談、特別支援教育に関心があり、より実践的な専門性を培い、教職に関する高度な実践力を身につけたいという目的を持つ人

● 現職教員

学級・学校経営や教育行政、授業・学習指導方法開発、生徒指導・教育相談、特別支援教育における様々な課題を解決するために、より高度な実践力を身に付け、学校や地域において指導的役割を果たしたいという目的を持つ人

入学者選抜の基本方針

教育学研究科は、本学の入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)に基づき、筆記試験、口述試験、実技試験等の評価を総合して入学者を選抜します。

【教育課程編成実施方針（カリキュラム・ポリシー）】

専門職学位課程においては、以下の趣旨に基づいて教育課程を体系的に編成し実施します。

1. 共通科目では、学校教育の基本となる課題について理論と実践の往還を通して学び、それに対応できる実践的力量を育みます。
2. 実習科目では、学校現場で課題を探究し、その課題を解決できる実践的力量を育みます。
3. 演習科目では、実践を対象とする研究や省察のための力量を育みます。
4. 研究科目では、理論と実践を架橋させ、自らの課題を解決する研究的力量を育みます。
5. 現代的教育課題科目では、喫緊の教育課題や教育の現状を理解し、それに対応できる実践的力量を育みます。
6. 課題研究及び学位研究報告書作成では、自ら探究した教育課題を解決するために実践を通して研究する力量と、研究の成果や在学中の学び・身につけた力量を省察してまとめることのできる力量とともに、学び続ける態度を育みます。

【学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）】

専門職学位課程においては、教育実践に関する研究をもとに、修了までに以下の力量を身に付けることを求めます。これらの力量を獲得するとともに、所定の単位を修得し、学位研究報告書の審査及び最終試験に合格した学生に学位を授与します。

1. 学校教育における諸課題に対し、俯瞰的な視点を持って組織的に解決できる力量
2. 専門的知見と高度な実践的指導力を生かし、新しい学校づくりの有力な一員となり得る力量
3. 学習指導、生徒指導、特別な支援を必要とする子どもに対する指導を一体化させて個に応じた指導ができる力量

1. 専攻、入学定員及び募集人員

専攻	入学定員	募集人員			選 抜 区 分
		9月募集	11月募集	2月募集	
教職開発	25名	・学校組織マネジメントコース ・学習指導コース ・生徒指導コース ・特別支援教育コース	}	25名	① 一般選抜
					② 現職教員特別選抜
					③ 社会人特別選抜
					④ 学外特別選抜(推薦入試)
					⑤ 連携大学特別選抜(推薦入試)
					⑥ 学内特別選抜(推薦入試)

※9月募集、11月募集及び2月募集で上記の人員を募集します。

※特別選抜(推薦入試)(上記④⑤⑥)に出願する者はそれぞれの募集要項を確認してください。

※⑤連携大学特別選抜(推薦入試)は、奈良教育大学と「教員養成の高度化に関する連携協定」を締結している大学(奈良女子大学、奈良大学、帝塚山大学、天理大学、大和大学、奈良学園大学[令和2年4月1日現在])の卒業見込者を、⑥学内特別選抜(推薦入試)は、奈良教育大学の卒業見込者を対象としています。

2. 標準修業年限 2年

ただし、教員免許状を有していない入学者及び小学校以外の校種の教員免許状を有し修了時に小学校教諭専修免許状を取得しようとする入学者については、「小学校教員免許取得プログラム」によって、小学校教諭一種免許状に必要な科目を修得し大学院の教育課程を履修することになりますので、標準修業年限は3年以上となります。

また、小学校、中学校、高等学校又は幼稚園の教諭の普通免許状を有している者のうち特別支援学校教諭一種免許状を取得しようとする入学者については、「特別支援学校教員免許取得プログラム」によって特別支援学校教諭一種免許状を取得した上で、大学院の教育課程を履修することになりますので、標準修業年限は3年となります。詳細については、11頁の「小学校教員免許取得プログラムについて」又は12頁の「特別支援学校教員免許取得プログラムについて」を参照の上出願してください。

なお、現職教員及び疾病等による通学困難者を対象とした「長期履修学生制度」が適用された場合の修業年限は、標準修業年限に2年以内の年数を加えて許可された期間となります。詳細については、12頁の「長期履修学生制度について」を参照してください。

3. 出願資格

① 一般選抜

一般選抜に出願できる者は、次の(1)～(9)のいずれかの出願資格に該当する者としてします。

- (1) 大学を卒業した者及び令和3年3月までに大学卒業見込の者
- (2) 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者及び令和3年3月までに授与される見込みの者

- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び令和3年3月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び令和3年3月までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び令和3年3月までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。)において、修業年限が3年以上である課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって文部科学大臣の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び令和3年3月までに授与される見込みの者
- (7) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和3年3月までに修了見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者(昭和28年文部省告示第5号)
- (9) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、令和3年4月1日現在22歳に達している者

[注] ・前記(8)に該当する者は、次に掲げる者等です。

「教育職員免許法による小学校、中学校、高等学校、幼稚園の教諭若しくは養護教諭の専修免許状又は一種免許状を有する者で22歳に達した者」

・前記(9)により出願する者は、事前に個別の入学資格審査を受けなければなりません。

② 現職教員特別選抜

現職教員特別選抜に出願できる者は、一般選抜の出願資格(1)～(9)のいずれかに該当し、かつ、次の現職教員の要件を満たす者とします。

[現職教員の要件]

下記ア又はイに該当し、かつ専任で在職のまま入学する者

ア) 学校教育法第1条に規定する学校の教員

幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校、大学及び高等専門学校の教員

イ) 教育公務員特例法第2条に規定する教育公務員で教育職員免許状を有する者

地方公務員のうち、公立学校(学校教育法第1条に規定する学校及び就学前の子どもに関する教

育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第2条第7項に規定する幼保連携型認定こども園であって地方公共団体が設置するもの)の学長、校長(園長を含む。)、教員及び部局長並びに教育委員会の教育長及び専門的教育職員

③ 社会人特別選抜

社会人特別選抜に出願できる者は、一般選抜の出願資格(1)~(9)のいずれかに該当し、かつ、次の社会人の要件を満たす者としてします。

[社会人の要件]

出願時点において、大学卒業〔各出願資格取得時を含む〕後2年以上を経過し、通算1年以上、学校、企業、官公庁等に常勤で勤務した経験を有する者

なお、常勤で勤務とは、正規の職員としての勤務のほか、同一の学校、企業等において1週間に平均して3日以上勤務を1か月以上継続した場合を含みます。詳細については、入試課まで照会してください。

※社会人特別選抜による入学者についても授業、演習等は昼間の時間帯に履修することとなります。

④ 学外特別選抜(推薦入試)

令和3年3月に大学卒業見込で、所定の要件を満たす者

⑤ 連携大学特別選抜(推薦入試)

奈良教育大学と「教員養成の高度化に関する連携協定」を締結している大学(※)を令和3年3月に卒業見込で、所定の要件を満たす者

※奈良女子大学、奈良大学、帝塚山大学、天理大学、大和大学、奈良学園大学と締結しています。

⑥ 学内特別選抜(推薦入試)

令和3年3月に奈良教育大学を卒業見込で、所定の要件を満たす者

④~⑥はいずれも11月募集のみで、一般選抜との併願はできません。

出願方法や所定の要件等詳細についてはそれぞれの募集要項を参照してください。

<出願資格(9)における個別の入学資格審査の申請方法等>

出願資格(9)により出願を希望する者は、出願に先立ち、入学資格審査を行いますので、次の書類を各申請期間中に入試課に提出してください。

入学資格審査申請書等の様式は、窓口及び郵送にて配付します。郵送による配付を希望する者は、表に「大学院入学資格審査申請書(専門職学位課程)請求」と朱書きした封筒に、返信用封筒(84円切手を貼り、申請者の郵便番号、住所、氏名を明記した長形3号定形郵便封筒)を入れて、入試課まで送付してください。

(1) 入学資格審査申請書類

- ① 入学資格審査申請書(本学所定の用紙)

- ② 学修歴、研究歴等申告書(本学所定の用紙)
 - ③ 入学を志望する動機(用紙はA4判とし、400字程度にまとめてください。)
 - ④ 研究計画書(大学院において研究したい分野と内容について記入してください。用紙はA4判とし、400字程度にまとめてください。)
 - ⑤ 最終学校の卒業証明書
 - ⑥ 最終学校の成績証明書
 - ⑦ 在職(籍)証明書(在職(籍)期間、職務内容、勤務様態等が確認できる書類) ※
 - ⑧ 返信用封筒(404円切手を貼り、申請者の郵便番号、住所、氏名を明記した長形3号定形郵便封筒)
- ※ 現に学校・教育関係機関・官公庁又は会社等に在職(籍)中の者は提出してください。

(2) 入学資格審査申請期間

[9月募集] 令和2年 7月 3日(金)から令和2年 7月 8日(水)まで

[11月募集] 令和2年 8月21日(金)から令和2年 8月26日(水)まで

[2月募集] 令和2年10月 2日(金)から令和2年10月 7日(水)まで

郵送による場合は、封筒表面に「入学資格審査書類在中」と朱書きし、「簡易書留便」により、申請期間必着で送付してください。

(3) 審査方法

提出された書類の内容、口述試験、及び研究科が必要とする場合は筆記試験(実技等を含む)の成績を総合して判定します。なお、審査の日時及び集合場所は本人に別途通知します。

(4) 審査結果の通知

審査の結果は、以下の期日までに郵送により本人に通知します。資格を認められた者には、「奈良教育大学大学院入学資格認定書」を同封します。

資格を認められた者は、出願書類に「奈良教育大学大学院入学資格認定書(写)」を添付してください。

[9月募集] 令和2年 7月22日(水)

[11月募集] 令和2年10月 9日(金)

[2月募集] 令和2年11月19日(木)

4. 出願手続

(1) 出願書類

書類等の名称		提出該当者	摘 要
①	入 学 願 書	全 員	所定の用紙に必要事項を記入してください。
②	受 験 票 ・ 写 真 票	全 員	所定の用紙に必要事項を記入してください。受験票の裏面には、 353円分の郵便切手 を貼付の上、 <u>郵便番号・住所・氏名</u> を記入してください。写真票には、出願前3か月以内に撮影した縦4cm×横3cmの上半身・脱帽・正面向きの写真を貼付してください。
③	検 定 料 (3 0 , 0 0 0 円)	全 員	郵便局・ゆうちょ銀行窓口で納付し、「振替払込受付証明書」を検定料納付確認票に貼り付けてください。納付手数料は、志願者の負担とします。(注)ATMでは「振替払込受付証明書」が発行されませんので必ず窓口で納付してください。
④	卒 業 (見 込) 証 明 書	全 員	出身大学長又は学部長が作成したものを提出してください。
⑤	成 績 証 明 書	全 員	出身大学長又は学部長が作成したものを提出してください。
⑥	宛 名 票	全 員	合格通知書及び入学手続書類を受け取る郵便番号・住所・氏名を記入してください。
⑦	学 位 授 与 証 明 書	①一般選抜において出願資格(2)の学士の学位を授与された者	大学改革支援・学位授与機構が作成したものを提出してください。 (大学を卒業した者及び大学卒業見込みの者は提出する必要はありません。)
⑧	学 士 の 学 位 授 与 申 請 受 理 証 明 書	①一般選抜において出願資格(2)の大学改革支援・学位授与機構に学位申請中の者	大学改革支援・学位授与機構が作成したものを提出してください。 (大学を卒業した者及び大学卒業見込みの者は提出する必要はありません。)
⑨	教 育 職 員 免 許 状 授 与 証 明 書	①一般選抜において出願資格(8)に該当する者	該当する免許状を授与された都道府県教育委員会発行の証明書を提出してください。 (大学を卒業した者及び大学卒業見込みの者は提出する必要はありません。)
⑩	奈 良 教 育 大 学 大 学 院 入 学 資 格 認 定 書 (写)	①一般選抜において出願資格(9)に該当する者	本学が行う入学資格審査により入学資格を認められた者は提出してください。 (大学を卒業した者及び大学卒業見込みの者は提出する必要はありません。)

⑪	受験承諾書	大学院在学者	所定の用紙により、在学している大学院の学長又は研究科長の承諾書を提出してください。
		在職者	現職教員特別選抜志願者及び学校・会社等に在職のまま <u>で入学しようとする者は</u> 、所定の用紙により、所属長等の承諾書を提出してください。
⑫	在職期間証明書	③ 社会人特別選抜志願者	常勤で勤務した機関の長が在職期間及び期間中の勤務日数を証明したもので、1年以上勤務したことを確認できるもの(様式任意)を提出してください。 ※常勤の内容は、4頁を参照してください。
⑬	住民票の写し等	日本国に居住している外国人 (永住許可者は対象外)	市区町村長が交付する、在留資格、在留期間、在留期間の満了の日を証明する書類を提出してください。
⑭	奈良県公立学校教員採用候補者選考試験結果通知書(写)	該当する者 (11月募集に限る)	「一般選抜」において「選抜方法の特例」を受けようとする者は、結果通知書の写しを提出してください。 ※小学校及び特別支援学校に限ります。

(注) 婚姻等により改姓し、証明書類等の氏名と異なっている場合は、それを証明する書類(戸籍抄本等)を添付してください。

(2) 出願方法

志願者は出願書類等を取りそろえ、下記の出願期間中に出願してください。郵送による場合は、この要項に添付した出願用封筒を用い『書留速達便』により送付してください。

① 出願期間

[9月募集]

令和2年7月30日(木)から令和2年8月5日(水)まで

各日とも午前9時から午後5時までとします。(正午～午後1時を除く)

(郵送の場合は、8月5日(水)の消印までを有効とします。)

[11月募集]

令和2年10月16日(金)から令和2年10月22日(木)まで

各日とも午前9時から午後5時までとします。(正午～午後1時を除く)

(郵送の場合は、10月22日(木)の消印までを有効とします。)

[2月募集]

令和2年11月27日(金)から令和2年12月3日(木)まで

各日とも午前9時から午後5時までとします。(正午～午後1時を除く)

(郵送の場合は、12月3日(木)の消印までを有効とします。)

② 出願書類の提出先

奈良教育大学入試課(〒630-8528 奈良市高畑町)

(3) 出願にあたっての注意事項

- ① 出願書類等受理後の記載事項の変更は認めません。ただし、願書を提出した後に合格通知等受信場所及び連絡先を変更した時は、ただちに、その旨を入試課へ届け出てください。
- ② 出願書類等に不備がある場合は、受理しません。
- ③ 受理した出願書類等は、いかなる理由があっても返還しません。
- ④ 出願書類に虚偽の記載が発見された場合は、入学許可を取り消すことがあります。
- ⑤ 既納の検定料は、次の場合を除き返還しません。

ア. 検定料を払い込んだが、出願しなかった場合又は出願が受理されなかった場合

イ. 検定料を誤って二重に払い込んだ場合

なお、上記ア又はイに該当する場合には、すみやかに入試課へ連絡してください。

5. 受験票の送付

- (1) 受験票は、受付完了後、本人宛に送付します。

なお、受験票が以下の期日までに到着しない場合は、入試課へ問い合わせてください。

[9月募集] 令和2年 8月26日(水)

[11月募集] 令和2年11月 2日(月)

[2月募集] 令和3年 1月27日(水)

- (2) 受験及び入学手続の際に、受験票が必要となるため、紛失、汚損等のないよう大切に保管してください。

6. 選抜方法

入学者の選抜は、提出書類の審査と選抜ごとに指定した学力検査〔口述試験〈個人面接〉(A・B・C評価)、筆記試験〈小論文〉(100点満点)、口述試験〈グループ討論〉(A・B・C評価)、実技試験〈プレゼンテーション又は模擬授業〉(A・B・C評価)〕によって行います。

なお、「令和3年度奈良県公立学校教員採用候補者選考試験合格者(小学校及び特別支援学校に限る。)(以下「奈良県教員採用試験合格者」という。)」については、「一般選抜(11月募集)」において、次のとおり選抜方法の特例を設けていますので、希望者は、入学願書の該当欄に必要事項を記入の上、出願してください。

〈一般選抜(11月募集)における選抜方法の特例〉

奈良県教員採用試験合格者に対する選抜特例

学力検査科目は、口述試験〈グループ討論〉及び実技試験〈模擬授業〉を免除し、口述試験〈個人面接〉及び筆記試験〈小論文〉とします。

- (1) 学力検査日

[9月募集] 令和2年 9月 6日(日)

[11月募集] 令和2年11月 8日(日)

[2月募集] 令和3年 2月14日(日)

(2) 学力検査場

奈良教育大学(奈良市高畑町)

たかばたけちょう

近鉄奈良駅・JR奈良駅から市内循環バス乗車『高畑町(奈良教育大学)』下車(裏表紙参照)

(3) 学力検査時間割

各選抜の試験科目及び試験時間は次のとおりです。なお、当日は試験についての留意事項を説明しますので、各選抜とも必ず8時40分までに集合してください。集合場所は、当日講義2号棟に掲示します。

① 一般選抜

試験は、次により口述試験、筆記試験〈小論文〉及び実技試験〈模擬授業※〉を行います。

専攻	時間	試験科目(配点等)
教職開発	9:00～	口述試験〈個人面接〉(A・B・C評価)
	個人面接終了後	筆記試験〈小論文〉(100点、90分)
	筆記試験終了後	口述試験〈グループ討論〉(A・B・C評価)
	グループ討論終了後	実技試験〈模擬授業※〉(A・B・C評価)

※教員免許未取得者(取得見込みを除く)はプレゼンテーションを選択可。

(注) 11月募集では、「奈良県教員採用試験合格者に対する選抜特例」を設けています。(P.8参照)

② 現職教員特別選抜

試験は、次により口述試験及び筆記試験〈小論文〉を行います。

専攻	時間	試験科目(配点等)
教職開発	9:00～	口述試験〈個人面接〉(A・B・C評価)
	個人面接終了後	筆記試験〈小論文〉(100点、90分)

③ 社会人特別選抜

試験は、次により口述試験、筆記試験〈小論文〉及び実技試験〈プレゼンテーション又は模擬授業〉を行います。

専攻	時間	試験科目(配点等)
教職開発	9:00～	口述試験〈個人面接〉(A・B・C評価)
	個人面接終了後	筆記試験〈小論文〉(100点、90分)
	筆記試験終了後	口述試験〈グループ討論〉(A・B・C評価)
	グループ討論終了後	実技試験〈プレゼンテーション又は模擬授業〉(A・B・C評価)

(4) 学力検査の概要

- ・口述試験〈個人面接〉… コース・研究計画についての個人面接。
- ・筆記試験〈小論文〉… 当日与えられた課題等についての論述。
- ・口述試験〈グループ討論〉… 当日与えられたテーマについてのグループ討論(活動を含む)
- ・実技試験〈プレゼンテーション〉… 当日与えられたテーマについて10分程度のプレゼンテーション。
- ・実技試験〈模擬授業〉… 当日与えられた題材について10分程度の模擬授業。

7. その他の留意事項

- (1) 出願手続後は、受験科目等の変更は認めません。
- (2) 試験当日は自動車、単車、自転車での本学構内への乗り入れを禁止します。
- (3) 試験当日は、「奈良教育大学大学院教育学研究科(専門職学位課程)受験票」を必ず持参してください。万一、受験票を忘れた場合、又は紛失した場合は、ただちに試験場本部へ申し出てください。
- (4) 一般選抜及び社会人特別選抜では、受験者数により、試験が午後に及ぶ場合がありますので、念のため昼食を持参してください。
- (5) 試験室に入室するまでに、必ず携帯電話等のアラーム設定を解除した上で、電源を切ってください。
- (6) 口述試験〈個人面接〉開始時刻に遅刻した者は、残りの科目も含め、受験することができませんので、あらかじめ経路、所要時間を確認し、十分な時間の余裕をもって試験場に到着してください。
- (7) 試験開始後は、終了するまで途中退室は認めません。
- (8) 連絡事項がある場合は、大学のホームページに掲載します。
- (9) 募集要項に関して不明な点がある場合は、入試課へ問い合わせてください。

8. 合格者の発表

[9月募集] 令和2年 9月24日(木) 午前10時

[11月募集] 令和2年11月26日(木) 午前10時

[2月募集] 令和3年 2月18日(木) 午前10時

合格者は、本部管理棟東側の入学試験掲示板に受験番号を掲示して発表すると同時に合格通知書を本人に郵送します。

また、合格発表日に本学のホームページ (<https://www.nara-edu.ac.jp/>) 上で合格者受験番号を速報する予定です。この合格速報は情報提供サービスの一環としてホームページ上に掲載するものであり、**正式には学内掲示板又は合格通知書で確認してください。**

なお、電話などによる照会には応じません。

9. 入学手続

合格者には、入学に必要な書類を送付するとともに、その他入学手続に必要な事項を通知します。

入学手続日

[9月募集] 令和2年10月 8日(木) 郵送必着

[11月募集] 令和2年12月14日(月) 窓口受付(午前10時から午後3時まで)

[2月募集] 令和3年 3月15日(月) 窓口受付(午前9時半から午後3時まで)

10. 入学料及び授業料

入学料 282,000円(予定)

授業料 前期分 267,900円(年額535,800円)(予定)

(注)ア. 既納の入学料は、いかなる理由があっても返還しません。

イ. 前期分の授業料については、令和3年4月1日から令和3年4月30日までの間に納入してください。

- ウ. 上記の入学料及び授業料は、令和2年度入学者の金額であり、令和3年度入学者については、変更する場合があります。
- エ. 在学中に授業料の改定を行った場合は、改定時から新授業料が適用されます。
- オ. 授業料について、奈良県教育委員会からの大学院等派遣研修による現職教員及び奈良県教員採用試験合格者については、別に定めるところによります。

11. 小学校教員免許取得プログラムについて(長期在学コース)

教員免許状を所有していない入学者及び小学校(二種)、中学校、高等学校又は幼稚園の教諭の普通免許状を有し修了時に小学校教諭専修免許状を取得しようとする入学者を対象としたもので、教職に関する高度な専門知識を習得させることにより、教育実践力を持った小学校教員の養成を行うものです。

なお、入学願書には本プログラムへの申請予定の有無を必ず記載した上で、入学後に別途申請書を提出する必要がありますので、履修を計画されている場合は、あらかじめ詳細等について教務課大学院担当(TEL 0742-27-9322)に確認の上、出願してください。

〈コースの概要〉各コースの対象者、履修方法等の概要は次のとおりです。

(1) 3年コース(修業年限3年)

対象者	履修方法	修了要件単位
<ul style="list-style-type: none"> ・小学校以外の校種の教諭の普通免許状を所有している入学者で、修了時に小学校教諭専修免許状を取得しようとする者 ・いずれかの校種の教諭の普通免許状(二種)を所有している入学者で、修了時に小学校教諭専修免許状を取得しようとする者 ・教員免許状を所有していない入学者のうち、入学前に小学校教諭免許状取得に必要な授業科目の単位をある程度修得済みである者 	1年次に小学校教諭一種免許状取得に必要な授業科目を履修し、2年次、3年次において、通常の教職開発専攻(教職大学院)の教育課程の履修を行うこととなります。	45単位以上及び小学校教員免許取得に必要な単位

(2) 4年コース(修業年限4年)

対象者	履修方法	修了要件単位
<ul style="list-style-type: none"> ・教員免許状を所有していない者(3年コース該当者を除く) 	1年次、2年次に小学校教諭一種免許状取得に必要な授業科目を履修した後、3年次、4年次において、通常の教職開発専攻(教職大学院)の教育課程の履修を行うこととなります。	45単位以上及び小学校教員免許取得に必要な単位

※3年コースを希望した場合でも、単位の取得状況等により4年コースとなる場合があります。

〈授業料〉

修業年限に応じた授業料を納付することとなります。

(参考例) 3年コースの場合、年額535,800円×3年 = 1,607,400円

〈申請方法及び申請時期〉

入学願書の「小学校教員免許取得プログラムへの申請予定」欄に申請予定の有無を必ず記載の上、入学後ただちに申請書を提出することとなります。免許状の取得状況等により、修業年限の取扱いが異なりますので、願書の記載内容に変更が生じる場合は、直ちに教務課大学院担当まで連絡してください。

12. 特別支援学校教員免許取得プログラムについて(長期在学コース)

小学校、中学校、高等学校又は幼稚園の教諭の普通免許状を有している者のうち特別支援学校教諭一種免許状を取得しようとする入学者を対象として、3年コース「特別支援学校教員免許取得プログラム」を開設しています。この3年コースでは、1年次に特別支援学校教員免許取得に必要な授業科目を修得した後、2年次、3年次において、通常の教職大学院の教育課程を履修します。なお、修学期間に応じた授業料が必要です。

13. 長期履修学生制度について

この制度は、教職開発専攻の入学者のうち、現職教員である等の事情で通常の標準修業年限での履修が困難な場合に、標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修することを認めるもので、その間の授業料の年額の負担を軽減することができるものです。

〈申請資格〉

申請できる者は、次のいずれかに該当する者とします。

- ① 現職教員
- ② 疾病等の理由により毎日の通学が困難な者

〈修業年限〉

修業年限は3年又は4年とします。

〈申請方法及び申請時期〉

入学願書の「長期履修学生制度への申請予定」欄に申請予定の有無を記載の上、入学後ただちに、担当教員と履修計画を立案した上、申請書を提出することとなります。

〈授業料〉

長期履修学生の授業料の年額は、2年間分の授業料を修業年限の年数で除した額となります。

(参考例) 修業年限が3年で長期履修を許可された者の授業料の年額

535,800円×2年÷3年=357,200円 (年額)

※ 2年間分の授業料を3年間で分割納入することとなります。

14. 修了要件、履修方法等について

○専門職学位課程の修了要件の概要

教職開発専攻においては、履修規則に基づき45単位以上の単位を修得した上、2年次には学習の成果を学位研究報告書として提出することが必要となります。

なお、1年間に履修できる単位数については制限を設けており、教職開発専攻(専門職学位課程)では、38単位を上限としています。

○教育学研究科修士課程授業科目の履修について

教職開発専攻においては、教育上必要と認められる場合に限り、教育学研究科修士課程において開設されている授業科目を、授業担当教員の許可を得て、在学中に12単位まで履修することが可能です。

○学部授業科目の履修制度

小学校教員免許取得プログラムとは別の制度として、教職開発専攻においては、在学中に12単位まで学部の授業科目を履修できる制度(科目等履修生制度)があります。

ただし、本専攻では実習を伴う科目を履修することにより実践力を培うことを目的とする、大学院正規課程での授業研究が主となりますので、この制度によって学部授業科目の履修を保証するものではありません。また、受講にあたっては、授業担当教員の承諾が必要となります。

○現職教員に対する教育方法の特例措置

現職教員の入学者(大学院修学休業制度利用者は除く。)については、大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例措置を設けています。この特例措置の適用を受けた場合は、修業年限2年のうち、第1年次は在職校の勤務を離れて通常の形態の授業と担当教員の指導を受け、第2年次は、勤務しながら週1日以上担当教員の指導と休業期間中等の授業を受けることとなります。申請を希望される場合は、願書に希望の有無を記入してください。

本特例措置については、入学当初に、指導教員の承認を得た「許可願」を提出し、許可を受けた場合に適用されます。

なお、第2年次の特例措置について、奈良県教育委員会からの大学院等派遣研修による現職教員は、別に定めるところによります。

○奈良県公立学校教員採用候補者選考試験合格者である学生に対する教育方法の特例措置

入学時点で奈良県公立学校教員採用候補者選考試験(小学校及び特別支援学校に限る。)に合格している学生に対し、大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例措置を設けています。この特例措置の適用を受けた場合は、修業年限2年のうち、第1年次は学業に専念し、通常の形態の授業と担当教員の指導を受け、第2年次は、教員として採用され、小学校又は特別支援学校で勤務しながら、担当教員の指導と休業期間中等の授業を受けることとなります。なお、この特例措置の適用を受けることができる者は、一般選抜「9月募集及び11月募集(選抜特例)」による合格者となります。

申請を希望される場合は、願書に希望の有無を記入してください。(出願時点で、奈良県公立学校教員採用候補者選考試験の合否が出ていない場合は記入不要)

本特例措置については、入学当初に、指導教員の承認を得た「許可願」を提出し、許可を受けた場合に適用されます。

15. 担当教員研究分野一覧表

専攻	専任・特任	氏名	研究テーマ・研究分野
教職開発	専任	粕谷 貴志	児童生徒の心理社会的発達と適応との関連および発達を支える心理教育的援助について
		河崎 智恵	キャリア教育のプログラム開発・生活実践力の育成に関する研究
		北川 剛司	教育評価における自然主義的アプローチ
		◎木下 理恵	児童生徒のニーズに応える特別支援学校力及び教師力の向上
		中井 隆司	授業研究に基づく教師の職能成長とアセスメントに関する研究
		◎根来 秀樹	脳科学からみた発達障害児の評価、障害児医学
		◎東畠 智子	自主的で社会的な学習者を育てる学校マネジメント研究
		堀田 千絵	障害のある子どもの認知発達を踏まえた学習支援法の構築
		前田 康二	英語教授法、教員養成と教員研修の一体化に関する研究
		宮下 俊也	音楽及び芸術教科を中心とした授業実践研究
		山本 敏久	主体性を育む学習指導と評価
		吉村 雅仁	国際理解教育・言語意識教育
	特任	大橋 輝雄	学習意欲を高める教師のかかわりや指導の在り方について
		阪部 清	円滑な学校運営のためのコミュニケーションの在り方について
		廣岡 敏美	児童生徒の学ぶ意欲を高める指導の在り方について
		◎山本 吉延	Project-Based Learningによる教員としての職能形成
		吉田 誠	学習意欲の向上を図る教授法の研究

◎令和3年3月、○令和4年3月退職予定の教員です。退職後は後任の教員を補充する予定です。

※上表に変更が生じた場合は、本学のホームページ (<https://www.nara-edu.ac.jp/>) で発表しますので、出願前に確認してください。

16. 個人情報の利用について

提出された出願書類等で得た個人情報は、本学の入学者選抜に係る業務のほか下記の業務に利用します。なお、独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律第9条第2項に規定されている場合を除き、出願者本人の同意を得ることなく他の目的で利用又は第三者に提供することはありません。

- (1) 合格者の受験番号、住所及び氏名等の個人情報を、入学手続に関わる業務に利用します。
- (2) 入学手続者の受験番号、氏名、性別、生年月日、出身校等の個人情報を学籍管理等の修学指導に関わる業務及び健康診断等の保健管理に関わる業務並びに厚生指導に関わる業務に利用します。
- (3) 入学者選抜で取得した入学手続者に関わる成績等の個人情報を、入学料免除、入学料徴収猶予、第1年次における授業料免除及び奨学生採用等の経済支援に関わる業務に利用します。
- (4) 入学者選抜で取得した成績等の個人情報を、統計処理業務及び本学における入学者選抜方法の改善に関わる調査・研究に利用します。
- (5) その他法人の定める「個人情報保護関連規則」に従って個人情報を利用します。

※「個人情報保護関連規則」については、奈良教育大学のホームページでご覧いただけます。

URL : <https://www.nara-edu.ac.jp/privacy/>

17. 障害等を有する志願者との事前相談について

障害等を有する志願者で、受験上の特別な措置を必要とする者又は修学上の特別な配慮を必要とする者は、必ず出願までに相談してください。

1. 相談の期間

[9月募集] 令和2年 7月13日(月) から令和2年 7月15日(水) まで

[11月募集] 令和2年 9月28日(月) から令和2年 9月30日(水) まで

[2月募集] 令和2年11月 9日(月) から令和2年11月11日(水) まで

2. 相談の方法

学長宛に次の事項を記載した相談書類(様式任意)を作成し、医師の診断書を添付して提出してください。なお、必要な場合は、本学において入学志願者又はその立場を代弁しえる出身大学関係者等との面談等を行います。

- (1) 氏名及び出身大学名
- (2) 障害等の種類、程度
- (3) 志望予定専攻、専修等
- (4) 受験上の特別な措置を希望する事項
- (5) 修学上の特別な配慮を希望する事項
- (6) 出身大学でとられていた特別措置等の事項
- (7) 日常生活の状況
- (8) 連絡先の住所、電話番号等

3. 提出先 奈良教育大学入試課 (〒630-8528 奈良市高畑町)

18. 過去の入試問題の閲覧について

過去3年間の入学試験問題を入試課窓口で閲覧することができます。

なお、個人への郵送は取り扱っておりませんので、あらかじめご了承ください。

〈閲覧場所〉 入試課窓口

〈時間〉 平日 9:00～17:00

19. 日本学生支援機構大学院奨学生の予約採用について

本学大学院入学後に日本学生支援機構奨学金の貸与を希望する日本人学生・在日外国人学生(留学生は除く)は、奈良教育大学のホームページにて申請方法を確認してください。

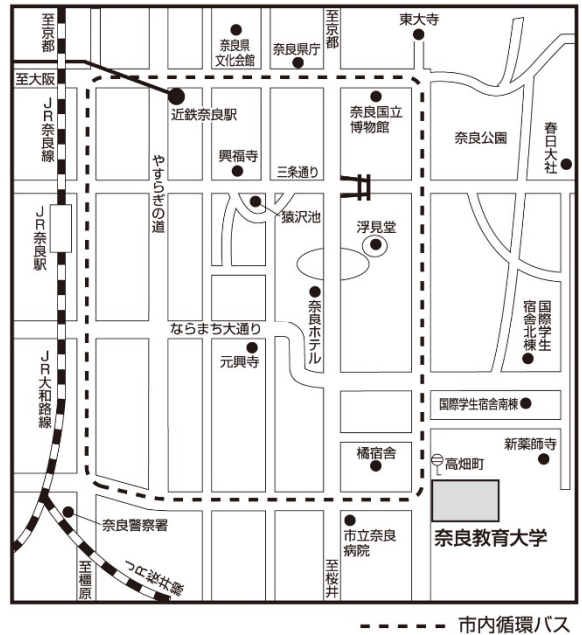
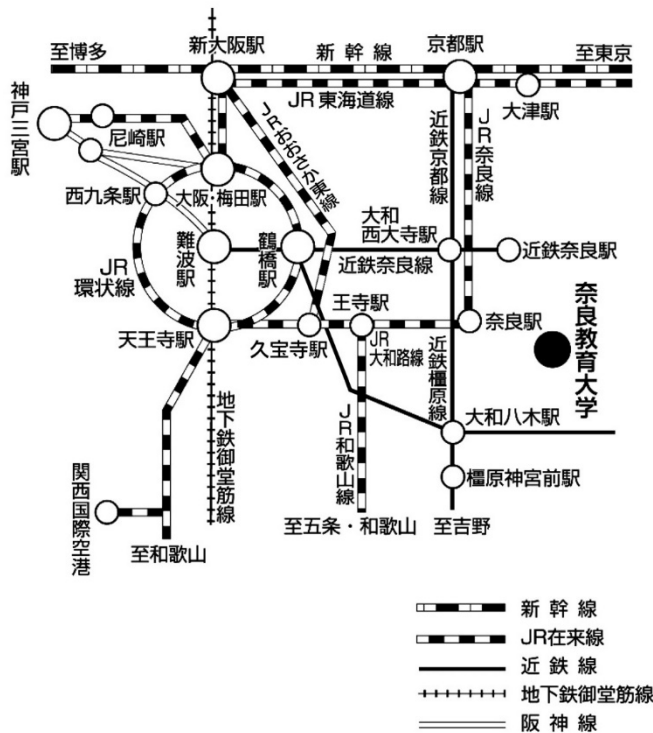
URL : https://www.nara-edu.ac.jp/campus_life/health/scholarship_system.html

「日本学生支援機構奨学金予約採用（大学院）について」

【注意】 申請方法は令和2年9月からホームページに掲載の予定です。

申請受付期間は令和2年12月から令和3年1月中旬の予定です。

試験場への順路



京都から

近鉄京都線で近鉄奈良駅まで特急約35分、急行45分+市内循環バスで約10分「高畑町」下車すぐ

新大阪から

JR東海道本線で大阪駅へ、JR大阪環状線（外回り）で鶴橋駅へ、近鉄奈良線（快急・急行）で近鉄奈良駅まで約60分+市内循環バスで約10分「高畑町」下車すぐ

大阪から

JR大阪環状線（外回り）で鶴橋駅へ、近鉄奈良線（快急・急行）で近鉄奈良駅まで約50分+市内循環バスで約10分「高畑町」下車すぐ

難波から

近鉄奈良線（快急・急行）で近鉄奈良駅まで約35分+市内循環バスで約10分「高畑町」下車すぐ

天王寺から

JR大和路快速で、JR奈良駅まで約33分+市内循環バスで約15分「高畑町」下車すぐ

JR大阪環状線（内回り）で鶴橋駅へ、近鉄奈良線（快急・急行）で近鉄奈良駅まで約45分+市内循環バスで約10分「高畑町」下車すぐ

神戸三宮から

阪神本線（快速急行）〔近鉄奈良行き〕で近鉄奈良駅まで約80分+市内循環バスで約10分「高畑町」下車すぐ

関西国際空港から

空港バスで近鉄奈良駅まで約90分+市内循環バスで約10分「高畑町」下車すぐ

問い合わせ先

〒630-8528 奈良市高畑町
奈良教育大学 入試課

TEL 0742-27-9126

Fax 0742-27-9145

ホームページ <https://www.nara-edu.ac.jp/>

E-mail nyuusi@nara-edu.ac.jp